

製品安全データシート

透明君

作成日2011年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品の名称 透明君

会社名 抗菌美装株式会社
 住所 長野県飯田市中村1758番地2
 電話番号 0265-56-2014
 FAX番号 0265-28-2011
 緊急連絡電話番号 0265-56-2014

2. 組成、成分情報

化学名 : ポリ塩化アルミニウム(PAC)水溶液
 化学式又は構造式 : $[Al_2(OH)_nCl_{6-n}]_m$ ($1 \leq n \leq 5, m \leq 10$)
 官報公示整理番号
 組成 : 塩基性塩化アルミニウム(混合物)
 CAS : 7446-70
 化審法 : 1-12,1-17
 安衛法 : 公表化学物質
 成分濃度 : 10.0~
 11.0%
 毒性 : なし
 MSDS配布対象成分 : 化学物質管理促進法 該当なし
 安衛法 対象物質
 毒劇法 該当なし

3. 危険有害性の要約

【GHS分類】

健康に対する有害性
 急性毒性 (経口) : 区分外
 急性毒性(吸入:粉塵 ミスト) : 区分外
 目に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B

【GHSラベル要素】

絵表示 : なし
 注意喚起語 : 警告
 危険有害性 : 軽度の眼への刺激
 注意書き : 眼に入った場合、水で数分間優位深く洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も
 洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断もしくは、手当を受けること。
 取り扱い後は、手を洗うこと。

4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移動し、必要に応じて医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 清浄な水で最低15分間目を洗浄し、必要に応じて眼科医の手当てを受け
 飲み込んだ場合 : 飲料水を多量に飲ませた後、直ちに医師の手当てを受ける。 意識不明
 の場合は、無理に吐出させてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤 : 周辺火災に適合した消火剤
 消火方法 : 周辺火災に適合した消火方法
 保護用具 : 火災の種類に合った保護具
 その他 : 周辺火災の場合には、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

6. 漏出時の措置

人体に関する注意事項	: 皮膚に付着しない様気を付ける。
環境に関する注意事項	: 盛土等で困って河川、水田等への流出を極力防止する。万一大量に流出し、一般市民、水棲生物への影響が懸念される場合には、直に関官庁、供給者へ連絡する。
回収除害方法	: 流出物はできる限りから容器に回収し、回収不能分については消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等を用いて中和する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱いの注意	: 漏洩の防止、接触・吸入防止のための個人保護具の着用。
保管上の注意	: 原液はpH=3~4であるため、鉄及びステンレス材質に対し、多少腐食性がある。塩化ビニール、ポリエチレン、FRP、ゴムライニング容器等必要な強度をもつた耐酸性の容器に保管する。

8. 爆発防止及び保護措置

設備対策	: 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備等必要に応じて設置
管理濃度	: 該当なし
許容濃度	: 日本産業衛生学会(1992年度版): 記載なし ACGIH(1997年度版): 記載なし
保護具	
呼吸器の保護	: 必要に応じて着用
手の保護	: 耐酸性手袋着用
目の保護	: 保護眼鏡着用
皮膚及び身体の保護	: 不浸透性材質の保護着
製品名	: ポリ塩化アルミニウム (PAC)MSDS

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 無色ないし黄色がかつたうすい褐色の透明な液体
臭い	: なし
沸点	: 102~106°C
密度	: 約1190kg/m ³ (at20°C)
溶解度	: 水に任意の割合で混合
引火展	: なし
酸化性	: なし
自己反応	: なし
pH	: 3~4

10. 安全性及び反応性

安全性・反応性	: 希釈またはアルカリ添加によりpHを上げると白濁し、後に沈殿物を生成す 製品は強熱して蒸発乾固させると塩酸ガスを発生する。 次亜塩素酸ソーダと混合すると有害な塩素ガスを発生する。
忌避すべき材料	: 鉄やステンレス
適用材料	: ゴムライニング、樹脂ライニング等必要な強度があるもの。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口マウス LD ₅₀ 12,790[mg/kg] 腹腔マウス LD ₅₀ 1,920[mg/kg] 注)LD ₅₀ (50%Lethal Dose): 検体を試験動物に投与したときの48時間の死亡率が50%であるとき動物の体重1Kg当たりの投与量。
人体に対する局所効果	: 皮膚及び目に軽度の刺激がある。 : 情報なし

12. 環境影響情報

魚毒性	: ①pH未調整の場合・・・(使用濃度:有姿) ヒメダカ 48時間TLm=840ppm/48h アサリ 48時間TLm=6,800ppm/48h ノリ 48時間TLm=1,500ppm/48h ②pH調整の場合(中性)・・・(使用濃度:有姿)
------------	---

その他	ヒメダカ	48時間TLm=10,000ppm/48h 以上
	アサリ・ノリ	48時間TLm=10,000ppm/48h 以上

: 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律第3条第4号(施行令別表1の2)に規定する「有害でない物質(無害液体物質)」に該当する。
注) TLm (Median Tolerance Limit) : 試魚の50%が致死する濃度

13. 廃止上の注意

・消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等を加えて中和した後、廃棄する。
廃棄の際は「廃棄物処理法」、「水質汚濁防止法」等関係法令を遵守する。
汚染容器・包装は水洗いした後、適切な廃棄方法をとる。

14. 輸送上の注意

危険物輸送に関する国連分類及び国連番号

国連分類 : 該当なし

国連番号 : 該当なし

輸送に係わる制限等

陸上輸送

海上輸送

原則として何人も、海域において船舶から排出してはならない。

航空輸送

原則として航空輸送してはならない。

但し、容器又は包装が告示で定める安全性に関する基準に適合していることについて、運輸大臣の行う検査に合格したものであればこの限りではない。

輸送上の注意事項

取扱い及び保管上の注意による他、毒物及び劇物の運搬容器に関する基準と強度を持つ耐酸性の容器に収納して運搬する。

15. 適用法令

船舶安全 : 危規則第23条危険物告示別表第3 腐食性物質

航空法 : 施行規則第194条危険物告示別表第11 腐食性物質

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

: 環境庁告示・査定物質(D類同等の有害液体物質)

施行令別表第1の2有害でない物質

施行令別表第1有害液体物質(D類)

労働安全衛生法 : 第57条の2、施行令第18条の2別表第9名称等を通知すべき有害物

16. その他の情報

引用文献

1) 日本化学工業協会の製品安全データシート作成指針による 分類基準
①爆発性物質 ②高圧ガス・・・ ⑩その他の有害物質

2) 日本産業衛生学会「産業医学」32巻P381-401(1990)

3) ACGIH-Documentation of the Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices(1997年版)

4) 長崎大学薬学部「ポリ塩化アルミニウム、PAC-250Aの急性並びに亜急性毒性試験成績」報告書(1975.4.7)

5) (財)日本食品センターの試験報告書一第OS-7110309-1~3

6) 中央労働災害防止協会・日本バイオアッセイ研究センターの「微生物を用いる変異原性試験(細菌を用いる復帰突然変異試験)報告書:NO.6092」(平成11年12月7日)

注) ・本MSDS記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではございません。

・注意事項等は通常的な取り扱いを対象としたもので特殊なお取扱いの場合はその点ご配慮をお願いします。

・危険物有害性報告等の評価は必ずしも十分とは言えないので、お取扱いには十分に注意して下さい。

※記載された内容は、入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、含有量、物質的・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をするものではありません。又、法令の改正及び新しい知見に基づいて改定されることがあります。

記載された注意事項は通常的な取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、ご使用者の責任において、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

重要な決定等にご利用される場合は、文献などをよく検討されるか、試験により確かめられることをお勧めします。

※周囲の住民、交通機関等に影響を及ぼす可能性のある場合は、関係官庁及び東ソー(株)の緊急連絡先へ通報してください。

※本MSDSの改訂版を受領した場合は、旧MSDSを廃棄くださるようお願いいたします。